

5 その他（参考資料）

(1) 腸管出血性大腸菌感染症の届出件数

	県内	全国
令和元年	47件	3,744件
令和2年	42件	3,094件
令和3年	61件（～12/31）	3,109件（～12/19）

(2) 腸管出血性大腸菌とは

腸管出血性大腸菌は毒力の強い「ベロ毒素」を出すのが特徴で、この毒素により腹痛や水様性下痢などの症状を引き起こします。

代表的な「O157」のほか「O26」、「O111」などが知られています。

(3) 腸管出血性大腸菌感染症の特徴的な症状

3日～1週間の潜伏期間の後、腹痛や水様性下痢を引き起こし、後に出血性の下痢となることもあります。合併症として溶血性尿毒症症候群（HUS）を発症することがあります。

成人では、感染しても症状がなかったり軽い下痢だけの場合もありますが、乳幼児や小児、高齢者では重症化することがありますので、注意が必要です。

(4) 家族に腹痛や下痢等の症状を有する方がいたら

○すぐ医療機関を受診しましょう

○患者の便を処理する場合には、ゴム手袋を使用するなどしましょう。もし触れた場合は、石けんでよく泡立てて流水で手洗いを行いましょう

○患者の便で汚染された下着等は、塩素系漂白剤などでつけおきしてから、家族のものとは別に洗濯をしましょう

○バスタオルや手拭きタオルは共用せず、個人用のものを準備しましょう

○接触者については、家庭での入浴機会を通じた感染のおそれがあります。患者はできるだけ浴槽につからず、シャワー又はかけ湯を使うか、最後に入浴しましょう

(5) 施設における感染拡大を防止するために

○トイレは定期的に清掃を行い、トイレ使用後は手洗いを徹底させるとともに、手拭きは個別のタオル又はペーパータオルを使用しましょう

○施設内外の衛生管理、職員の衛生管理及び消毒を徹底しましょう

長野保健福祉事務所健康づくり支援課
(課長)小林秀子 (担当)丸山聡
電話 026-225-9045 (直通)
026-223-2131 (代表) 内線 124
FAX 026-223-7669
E-mail nagaho-kenko@pref.nagano.lg.jp

健康福祉部感染症対策課感染症対応担当
(課長)大日方隆 (担当)伊藤博臣 内山友里恵
電話 026-235-7148 (直通)
026-232-0111 (代表) 内線 2640
FAX 026-235-7334
E-mail kansen@pref.nagano.lg.jp